

壽々喜多呂九平  
香川昌平  
妻牛龍之介

紹介者

壽々喜多呂九平  
香川昌平  
雲井龍之介  
第三百八十七號

以前、壽々喜多呂九平は東亞時代からマキ至るまで、彼の特意な探偵趣味から様々

りーを書いた。

「影法師」「斑蛇  
彼がストリーテラ  
ある。其の中で此

大鹽左馬太事件

代の名作

から彼は今や  
ひ易い「紫頭巾」

門」に示した大衆監督良心（製作良心

高揚したもので、

うそ

の人物に各々個性

幕を時折挿入して

三  
九

い場面が多い。此

法にもつと慎重

の捕物小説にて遺  
な手法に凝るより

の本筋の、佐平  
深く必然的に結

その混乱を狙つた  
最も深貞剣的な此

トリ一を呑みこ

之間にテントにか

が混乱の第一の一  
人に見てしま

、必ず面白くなつ  
充分に作り上げら

九三  
九

せかけて植ゑ世人  
本向きに組立てら

あるのだが、そ  
が終つてしま

、もつと慎重に、  
カメラの構圖を動

ごは稀に見る美

—友田 純一郎—  
ある人氣作品であ

間違ひはない。

(四月一日) 浅草